

各地保育
會の活動

北九州保育會概況

門司幼稚園 松 村 茂

北九州云へば數縣にも跨る廣大地域の様に聞えるが實

は福岡縣の一部分で門司、小倉、八幡、戸畑、若松、直方、

飯塚の七市三其の周圍の七郡を包容する眞の九州北端に

相當する一小地域の稱である各市夫々行政區劃は異にして

居るけれども相接觸した都市で交通も産業も不可分の關係

にある一ブロックである。所謂之の地域は鎮西小唄に「山

じや石炭、街には工場、港々にや船がつく」云つた様に

地下資源に恵まれ海陸交通も利便であり最近は大陸關係に

依つて拍車をかけられて各種産業が勃興して居る然るに工

業都市の通弊として精神文化の方面はお留守である殊に幼

兒の世界に至つては産業の進展に反比の逆境を辿り誠に寒

心に堪へない慘狀である依て之の地域に散在して居る保育

關係者達は互に連繫を求めて保育研究會を催し爾來同志相

謀り會を重ねる内に組織も漸く成つて現今五十五園百五十

名の加盟會員を得て北九州保育會と稱して居る次第であ

る。

北九州保育會々則抄

第一章 總則

本會は筑豊地方に於ける七市七郡の保育關係者を以て組織し北九州保育會と稱す

第二章 目的及事業

一、保育に關する研究會

二、保育に關する講習會

三、講習會

四、會員の表彰並に慶吊

五、見學及視察

六、其他保育事業上必要なる事項及親睦行事

第三章 組織

本會は統制上左の五支部を設く

門司支部(門司市、田川郡、筑上郡)

小倉支部(小倉市、企救郡、京都郡)

八幡支部(八幡市)

戸畑支部(戸畑市、飯塚市、嘉穂郡)

若松支部(若松市、直方市、遠賀郡、鞍手郡)

第四章 會員

- 一、正會員 各保育園設立者と保育關係者
- 二、贊助員 本會の目的を賛同し援助せらるゝ者

第五章 役員

- 一、會長一名 各市の教育課長又は社會課長の職に在る者を輪番に推戴す
- 二、顧問若干名 各市の教育課長並に社會課長の職に在る者を推戴す
- 三、幹事若干名 各支部長及副支部長を本會幹事とす幹事申より幹事長一名を互選す
- 四、理事一名 事務所所在園長を以て之に充つ

會長	有 光 一	八幡市學務課長
幹事長	松 村 茂	門司幼稚園長
理事	大 浦 キミ	小倉幼稚園長
幹事	松村ミツノ	門司市門司幼稚園
同	横山八重	田川郡慈惠幼稚園
同	工藤キクマ	京都郡行橋幼稚園
同	米原ミワ	小倉市城北幼稚園
同	木戸重光	八幡市八幡協和館
同	眞田澄江	八幡市大藏幼稚園
同	坂田五月	戸畑市戸畑幼稚園
同	合田孝子	戸畑市戸畑託兒所

- 幹事 森 富美 若松市若松保育園
 - 同 水摩 源造 鞍手郡劍幼稚園
 - 同 大和 國子 直方市大和幼稚園
- 毎年定例の三大大行事

一、春期國民學校との連絡會
 毎年四月には保育滿了兒が數ヶ所の國民學校に分散して各々新しい學校生活に入るので各地方別に春期の學期初めに於て關係國民學校との連絡會を催し隔意なき意見の交換を行ひ天々の參考に資し好結果を收めて居る。

二、夏期講習會
 毎年必ず夏期休暇中に保育講習會を開催し既に第七回も繼續して居る。倉橋先生を始め東京女高師の先生方にお願したり其他斯道の最高權威者の方々ばかりを招聘するこゝが出来て保育各項目に互り理論と實際との講演を受け會員達の素質を向上せしむる事を得て會員一同感謝して居る次第である。

三、秋期研究發表會
 本會の中心行事とも云ふべきもので重點主義を採り毎年研究項目を定め五支部輪番主催の下に保育研究會を開き忌憚なき意見の交換をなし以て保育の徹底強化を期して居る。

會員表彰

一、普通表彰 滿五ヶ年以上五ヶ年を増す毎に其間同一園に在職勤續者に對し毎年定例の表彰式を行ふのである。

二、特別表彰 本會の爲め特に貢獻したる者又は幼児保育上拔群の功勞者に對し隨時表彰式を行ふのである。

奉祝記念事業

一、記念樹 昨年は二千六百年奉祝記念の爲め肇國の聖地宮崎縣より御賀玉之樹を取り寄せ各園に分配して植樹した。

二、記念雜誌發行 「北九州の幼児教育」を題し奉祝記念號を發行した。

三、記念表彰 教育の職にある事通算三十年以上の者十九名を選び記念表彰を行つた。

其他手技展や圖書展や又は傷病兵慰問會を催す等過去數年間の行事が夫から夫へ追憶されるが概要に留めて置く、尙近來各市に社會事業協會が組織され殊に新體制として北九州文化聯盟の結成があり、兒童文化協會は其一部門となつて活氣を呈し裨益される事多大となつて來た事を嬉ぶ次第である。

豆座談會 (二)

特定の子供とだけ遊ぶ子

年長組の或る男兒、同じ組の女兒と手をつないで、職員室に入り来る。

S保姆「あの子は、あの女の兒が大好きでいつもあの子とだけ遊ぶうとしますか、」

倉橋「そう。僕の目にもついてゐますよ、時によつては、あの女の子を他の人が手をつないでゐると、拂ひのけることさへあるんですよ、」

K保姆「あの子の兄さんもそうでした。やつぱり一人の女の兒を可愛がつて、お話の時でも何の時でも「〇子ちゃん、こゝへおるでよ」と言つた調子で自分のそばへ呼ぶんです。

あゝいふのは、フロイドの潜在意識でもつて解釋出來ないものなのでせうか？長い間、先生のお傍に居りながら、遂、今日まで、精神分析についての先生の御意見を何ふ機會が無く、いつか伺ひ度いと思つてゐたのでした。

倉橋「私は精神分析を斥けるものではありません。世の中のこととはみんなあれでいつてゐるんだと思つてゐます。たゞそれを大きく取り上げるのがいけないと思ひます。」

K保姆「精神分析のことを始終頭においてゐるのですけど、幼稚園では今まで一度も當てはまるやうな問題にぶつかつた覚えがありませんでした。」

倉橋「そうですとも。そして、尤も子供の問題にあれを當てはめてはいけません。」

K保姆「でもフロイドがあゝいふ解釋でもつて治癒させた精神病人も澤山あるやうですし、ニールなんかも隨分應用してゐるやうですね。」